

令和6年度（2024年度） 技術・家庭科（技術分野） 年間指導計画【第1学年】

評価 方法	ア 授業態度、発言 オ 作品	イ ワークシート カ 課題レポート	ウ ワークブック キ 作業記録表	エ 定期考査 ク 振り返りシート
----------	-------------------	----------------------	---------------------	---------------------

教科横断的視点： 他教科関連（教科名） 内容

月	単元	時数	学習内容	評価規準		
				知識・技能 (ア、エ、オ)	思考・判断・表現 (ア、エ、オ、カ)	主体的に学習に取り組む態度 (ア、イ、ウ、カ、キ、ク)
4	情報の技術	3	Wordの活用 自己紹介カードの作成	ソフトウェアを使用して、基本的な情報の処理ができる。・ソフトウェアの特徴と利用方法を理解している。	ソフトウェアを使用して、自らの考えを表現する方法の工夫について考えている。	作品の構成等を考えてより良い作品を作成しようとしている。
5	材料と加工の技術	4	試作品の製作	自ら設定した問題を解決するために、試作品を製作することができる。	生活の中から問題を見いだして課題を設定することができる。	自分なりの考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。
6		4	木工作品の製作 けがき	・図面通りに正しくけがきができる。 ・けがきで使用する工具の使い方及び仕組み組みと効果的な使用方法との関係について理解している。	けがき作業に必要な工具の使い方の改善について考えている。	けがきの目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して必要な線を正確に書こうとしている。
7		2	木材と加工について	木材の構造と特徴を生かした利用方法について理解している。	木材と加工技術に込められた工夫について考えている。	木材の特性を生かした利用方法について理解しようとしている。(アカク)
		1	製図 等角図 数学 空間図形	・製作品の構想を等角図で表すことができる。(アオ) ・等角図の書き方を理解している。	等角図を利用して、製作品の構想を表現する方法の工夫について考えている。	構想した製作品の寸法、形状を表すために、等角図を利用しようとしている。
9		4	木工作品の製作 材料取り	・寸法通りに材料取りができる。(アオ) ・材料取りで使用する工具の使い方及び仕組みと効果的な使用方法との関係について理解している。	材料取りに必要な工具や機器の使い方の改善について考えている。	材料取りの目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して正確な部品を製作しようとしている。

10	材料と加工の技術	5	木工作品の製作 部品加工	<ul style="list-style-type: none"> 部材の表面をかんなややすりを使って仕上げるができる。 部品加工で使用する工具の使い方及び仕組みと効果的な使用方法との関係について理解している。 	部品加工に必要な工具や機器使い方の改善について考えている。	部品加工の目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して正確な部品を製作しようとしている。
11		3	木工作品の製作 部品検査、仮組み立て	<ul style="list-style-type: none"> 部品検査、仮組み立てをすることができる。 部品検査、仮組立で使用する工具の使い方及び仕組みと効果的な使用方法との関係について理解している。 	部品検査、仮組み立てに必要な工具や機器の使い方の改善について考えている。	部品検査、仮組み立ての目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して、仮組立をしようとしている。
12		3	木工作品の製作 組み立て	<ul style="list-style-type: none"> 組み立て手順に従って、組み立てができる。 組み立てで使用する工具の使い方及び仕組みと効果的な使用方法との関係について理解している。(ウエ) 	組み立てに必要な工具や機器の使い方の改善について考えている。	組み立ての目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して正確に組み立てようとしている。
1		2	製図 第三角法 数学 立体の投影図	<ul style="list-style-type: none"> 製作に必要な図面を第三角法で書くことができる。 第三角法による図面の書き方を理解している。 	第三角法で、製作品の構想を表現する方法の工夫について考えている。	構想した製作品の寸法、形状を表すために、第三角法の規則に従って、設計図を書こうとしている。
2		3	木工作品の製作 塗装	<ul style="list-style-type: none"> 正しい方法で塗装ができる。(アオ) 塗装で使用する工具の使い方及び仕組みと効果的な使用方法との関係について理解している。 	塗装に必要な工具や機器の使い方の改善について考えている。(アイキ)	塗装の目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して塗装をしようとしている。
		1	これからの材料と加工の技術 持続可能な社会の構築	持続可能な社会の構築のために必要なこれからの材料と加工の技術の概念を理解している。	持続可能な社会の構築に向けて、これからの材料と加工の技術を評価し、適切な選択、運用、改良について考えている。	持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
3	情報の技術	3	Active Basic	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じて、使用言語の文法通りに、プログラムの作成・編集ができる。 使用言語の特徴と利用方法を理解している。 	Active Basic を使用して、自らの考えを表現する方法の工夫について考えている。	自らの問題解決を振り返り、よりよいプログラムを作成しようとしている。